

宇都宮商工会議所まちづくり委員会 活動報告書

令和4(2022)年10月31日

宇都宮商工会議所
会頭 藤井 昌一 様

宇都宮商工会議所まちづくり委員会
委員長 福田 宏一

当委員会は、令和元（2019）年度から委員会が所管する重要事項の調査研究を進めてまいりました。

このほど、次に掲げる事項についての調査・研究が終了しましたので、その活動経過と結果についてご報告します。

宇都宮商工会議所まちづくり委員会 委員名簿

委員長	福田 宏 一	(株)福田屋百貨店 代表取締役社長
副委員長	村 上 龍 也	(株)村上 代表取締役
委員	須 賀 英 之	学校法人須賀学園 理事長
同	斎 藤 高 藏	斎藤商事(株) 代表取締役社長
同	笠 原 正 人	アサヒタクシー(株) 代表取締役
同	安 藤 英 夫	(株)安藤設計 代表取締役会長
同	増 渕 薫	(一社)宇都宮建設業協会 理事
同	守 徹	(株)東武宇都宮百貨店 代表取締役社長
同	小 堀 俊 明	第一測工(株) 代表取締役社長
同	佐 藤 靖	パスキン工業(株) 代表取締役
同	吉 田 元	関東自動車(株) 代表取締役社長
同	渡 辺 英 治	(株)みずほ銀行宇都宮支店 支店長
同	柴 田 道 夫	柴田建設(株) 代表取締役
同	荒 井 学	宇都宮土建工業(株) 代表取締役
同	菊 池 三紀男	(株)菊地組 代表取締役
同	石 島 洋	税理士法人石島会計 総務部長
同	岡 安 規 男	関東綜合開発(株) 代表取締役
同	菊 池 茂	山本建設(株) 代表取締役会長
同	上 野 武 男	宇都宮二荒山神社 禰宜
同	清 幹 広	東京ガスネットワーク(株)栃木支社 支社長
同	横 松 宏 明	(株)横松建築設計事務所 代表取締役
同	高 久 和 男	イーランド(株) 代表取締役
同	木 内 裕 祐	(株)五光 代表取締役
同	星 野 隆 一	富士興産(株) 代表取締役
同	町 田 卓 大	(株)町田建塗工業 代表取締役
同	和 氣 幸 雄	(有)高林堂 会長
同	児 玉 博 利	税理士法人児玉税経 代表社員
同	石 川 秋 十	報徳流通システム(株) 代表取締役社長
同	小 花 伸 子	小花塗装(株) 代表取締役
同	卯 木 伸 男	(有)随想舎 取締役社長
同	本 澤 崇	(株)本澤建築設計事務所 代表取締役

以上 31 人

目 次

1 「歩いて楽しい街 宇都宮」をつくるために ―提案・要望―	-----P2～3
(1) L R TのJ R宇都宮駅西口延伸の早期実現	
(2) 中心市街地における再開発のさらなる促進	
(3) 中心市街地活性化の推進	
(4) 大通りのセミトランジットモール化の検討	
2 委員会の活動経過-----	P4～5
3 芳賀・宇都宮L R Tの進捗状況について-----	P6
(1) L R Tの東側整備状況について	
4 L R T導入を見据えた中心市街地の活性化戦略について-----	P7～8
(1) 第3期 宇都宮市中心市街地活性化基本計画の概要	
5 〔参考〕第3期宇都宮市中心市街地活性化基本計画の評価について-----	P9～12
(1) 計画期間	
(2) 区域	
(3) 目標値の達成状況	
(4) 中心市街地の活性化戦略について	
6 歩きたくなる街とプレイスメイキングについて-----	P12～13
(1) 泉山先生の講話要旨	
7 都心部まちづくりビジョン～L R Tを基軸とした公共交通と一体となった都心部の 更なる活性化に向けて～-----	P13～15
(1) L R Tの西側延伸について	
8 L R Tの今後の可能性と中心市街地のあり方について (まちづくり委員会における意見等) -----	P15～17
(1) L R Tの運行について	
(2) L R Tの西側延伸について	
(3) まちづくりについて	
(4) プレイスメイキングについて	
(5) J R宇都宮駅西口再開発について	

L R T 西側延伸の早期実現と 歩いて楽しい街宇都宮の実現に向けて



1 「歩いて楽しい街 宇都宮」をつくるために－提案・要望－

当委員会は、令和3（2021）年度から4回にわたり委員会を開催し、重要事項の調査・研究を進めてまいりました。

L R Tは現在、J R 宇都宮駅東側において、令和5年度の開業に向け、整備工事の最終段階となるレール敷設などの軌道工事が進められており、今後は、J R 宇都宮駅西側に延伸することが検討され、J R 宇都宮駅西側のまちづくりにおいて、極めて重要な要素と考えられます。

つきましては、L R TのJ R 宇都宮駅西側延伸の早期実現を強く求めるとともに、以下の項目について提案・要望をしますので、商工会議所が行政や関係機関と連携を密にしながら、「歩いて楽しい街 宇都宮」の実現に向け対策を講じ、積極的に行動することを期待します。

（1）L R TのJ R 宇都宮駅西側延伸の早期実現

以下の項目について市に働きかけを行っていただきたい。

- ア 本市最大の観光拠点である大谷地区までのさらなる延伸の検討・実現
- イ 景観に配慮した西側延伸の整備
- ウ 都心部まちづくりビジョンの市民への更なる周知徹底

（2）中心市街地における再開発のさらなる促進

以下の項目について、市や民間事業者に働きかけを行っていただきたい。

- ア 市の支援強化
 - （ア）老若男女が行ける公共施設の導入（図書館、歴史・文化・芸能施設など）
 - （イ）L R Tの西側延伸に合わせたJ R 宇都宮駅西口及び中心市街地の再開発の推進
 - （ウ）本市中心部の公用地などについて、長期的な観点から宇都宮の価値向上に資する活用法の検討
- イ 民間施設の誘致促進
 - （ア）人が行きたくなるような施設の誘致（エンターテインメント性のある娯楽施設など）
 - （イ）本人が行かなければならない施設の誘致（医療施設など）
 - （ウ）本人が学ぶための施設の誘致（ビジネススクールなど）

(3) 中心市街地活性化の推進

以下の項目について、市に働きかけを行っていただきたい。

- ア 建築物における駐車施設の附置及び管理に関する規制緩和
- イ 街なかで人が滞留できる居心地のよい空間（プレイスメイキング）の整備と防災への配慮
- ウ 本市が推進している「ウォーカブルなまちづくり」と「自転車のまち」の両方が共存できる環境の整備
- エ 芳賀・宇都宮LRT開通後にトランジットセンターを活用した南東方面（真岡市、益子町、茂木町等）からの来街者を中心市街地まで回遊させる仕組みの検討

(4) 大通りのセミトランジットモール化の検討

LRTのJR宇都宮駅西側延伸が検討されていることから、以下の項目について、市や関係機関等とともに、調査研究を進めていただきたい。

- ア 自動車の車線を減らして、歩道を拡幅
- イ 社会実験の実施
- ウ 市民レベルでの議論

2 委員会の活動経過

(1) 第1回正副委員長会議（令和3（2021）年1月19日）

ア 内 容

(ア) 宇都宮商工会議所まちづくり委員会の検討事項について

(イ) まちづくり委員会の今後の進め方について

⇒ 前期まちづくり委員会では、「L R T西側延伸の早期実現」と「歩いて楽しい街 宇都宮の実現」に向けた提案・要望がなされていることから、前期に引き続いてL R Tによるまちづくりを検討事項とすることです承された。

イ 出席者 2人

(2) 第1回委員会（令和3（2021）年8月4日）

ア 内 容

(ア) 講 話 1

a テーマ 芳賀・宇都宮L R Tの進捗状況について

b 説明者 宇都宮市建設部 L R T企画課 協働広報室

(イ) 講 話 2

a テーマ L R T導入を見据えた中心市街地の活性化戦略について

b 説明者 宇都宮市総合政策部 地域政策室

(ウ) 意見交換

(エ) 令和3年度まちづくり委員会活動計画（案）について

⇒ 講話後に、J R 宇都宮駅東側のL R T整備状況や災害時の対応等のほか、L R Tの西側延伸については、景観にも配慮しながら早期実現に向けた建設的な意見交換が行われた。

今回の意見については、当委員会に取りまとめて宇都宮市への提言要望に繋げていくこととした。

イ 出席者 14人

(3) 第2回委員会（令和3（2021）年12月20日）

ア 内 容

(ア) 講 話

a テーマ 歩きたくなる街とプレイスメイキングについて

b 説明者 日本大学理工学部 建築学科

助教 泉山 墨威 氏

(イ) 意見交換

⇒ 講話後に、L R Tの西側延伸を見据えた中心市街地の「歩いて楽しい街 宇都宮」の実現に向け、ハード面やソフト面において、どうあるべきかについて、当委員会メンバー内で意見交換が行われた。

イ 出席者 17人

(4) 第3回委員会（令和4（2022）年6月7日）

ア 内 容

(ア) 講 話

- a テーマ 都心部まちづくりビジョン（L R Tなど公共交通と一体となった都心部の更なる活性化）について
- b 説明者 宇都宮市都市整備部 N C C推進課 都市拠点グループ

(イ) 意見交換

⇒ 講話後に、J R宇都宮駅西側延伸について、当委員会メンバーから忌憚のない意見交換が行われた。次回は、これまでの当委員会での発言内容を取りまとめた活動報告書の素案を題材に意見交換を行うこととした。

イ 出席者 16人

(5) 第4回委員会（令和4（2022）年8月22日）

内 容

(ア) 活動報告書（素案）について

(イ) 意見交換

⇒ 第1回から第3回までの当委員会での発言内容を取りまとめた活動報告書（素案）について、事務局から説明がなされた後、最終報告書作成に向け、各委員から積極的な発言がなされた。

なお、最終報告書の内容については、正副委員長に一任された。

イ 出席者 14人

3 芳賀・宇都宮LRTの進捗状況について

(令和3(2021)年8月4日 宇都宮市建設部 LRT企画課 協働広報室)

(1) LRTの東側整備状況について

スケジュール	平成30年5月 着工 ⇒ 令和5年8月全面開業(予定)
営業キロ	約14.6キロメートル(複線)
事業方式	公設型上下分離方式 営業主(上) 宇都宮ライトレール株式会社 整備主(下) 宇都宮市、芳賀町
停留場数	19ヶ所(100パーセントバリアフリー)
トランジットセンター	5ヶ所(想定)
導入車両	低床式車両 17編成(車両長 29.520m)
車両定員	160人(座席 50席)
概算事業費	約684億円(消費税抜) (内訳) 宇都宮市区間 約603億円 芳賀町区間 約81億円



4 LRT導入を見据えた中心市街地の活性化戦略について

(令和3(2021)年8月4日 宇都宮市総合政策部 地域政策室)

(1) 第3期 宇都宮市中心市街地活性化基本計画の概要

ア 計画期間 5年間(令和2年4月～令和7年3月)

イ 対象区域 約173ha(赤枠内)



ウ 中心市街地の将来像

「うごく つながる 心躍る みんなで創る 宮の街なか」の実現

「うごく」⇒(活力・居住)

LRTが走り、ICT技術などを活用しながら多様な活動が行われ、新たな産業が興り、働く人・住む人が増える。

「つながる」⇒(賑わい・居住)

人と人が結び付き、多様な交流が生まれるとともに、様々な情報が収集・発信され、「人・情報」がつながる、また、LRTにより東口と西口がつながる、宇都宮と他の都市とがつながる。

「心躍る」⇒(魅力)

人を惹きつける魅力的な空間が形成され、街なかを訪れ、楽しむ人が増える。

「みんなで創る」⇒(仕組み)

官民の様々な団体・個人が主体的に多彩な取組を連携・補完し合いながら進めることで、未来の街なかを築き上げていく。

エ 活性化戦略

(ア) その1

○街なかマネジメント事業(プレイスメイキングうつのみや)

①人の欲求や活動から、公共空間のあり方を変える。

②誰もがアクセスでき、自由に使える公共空間に、様々な活動の場をつくる。

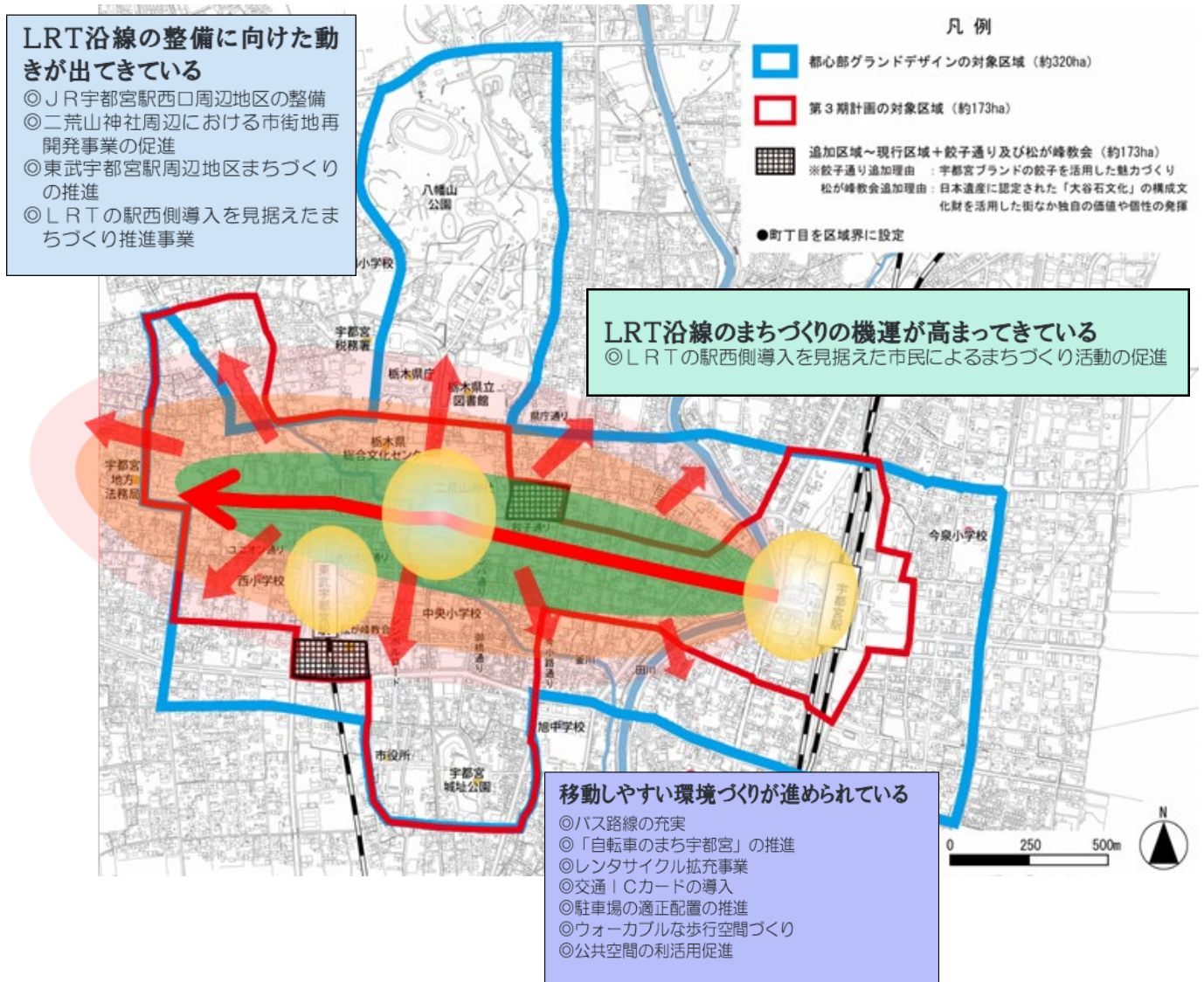
③居心地が良く、交流が促され、他者やまちとの関わりが生まれ、人々の暮らしが豊かになる。

【イメージ】 KAMAGAWA YARD (カマガワ ヤード)



(イ) その 2

○ L R T の 駅 西 側 へ の 導 入 を 見 据 え た ま ち づ く り プ ロ ジ ェ ク ト



5 【参考】第3期宇都宮市中心市街地活性化基本計画の評価について
令和4年度宇都宮市中心市街地活性化協議会総会 使用資料一部抜粋
(令和4(2022)年7月21日 宇都宮商工会議所大会議室に於いて)
(宇都宮市中心市街地活性化協議会)

(1) **計画期間** 令和2年4月から令和7年3月まで

(2) **区 域** JR宇都宮駅周辺および東武宇都宮駅周辺を含む区域約173ha

(3) 目標値の達成状況

ア 目標1＜活力＞

方針：「人・モノ・情報」を呼び込み、様々な活動を活性化させるまちづくり

【目標指標：事業所数】

区域	H28 (基準値)	R1	R3	R6 (目標値)
173ha	2,571	2,647	—※	2,591

※経済センサス活動調査のR3実施結果の速報値はR4.5.31に公表されたが、町丁目ごとにデータは未公表。

※出典：経済センサス

【参考指標：空き店舗数・空き店舗率】

	R1 (基準値)	R2	R3	R4 (最新値)	R6 (目標値)
空き店舗数	25	29	27	23	25以下
空き店舗率	2.0%	2.3%	2.1%	1.8%	2.0%以下

※出典：宇都宮市中心市街地空き店舗情報システム（各年4月）

【達成状況】

空き店舗数は、平成23年度の124店舗をピークに減少傾向となっており、目標値に達している。

イ 目標2＜魅力＞

方針：街なかの魅力を高め、多くの人を惹きつけるまちづくり

【目標指標：歩行者・自転車通行量（常設地点の9月の平均値）】

11地点	R1 (基準値)	R2	R3 (最新値)	R6 (目標値)
平日	9,332	7,729	6,925	9,900
休日	8,934	8,101	5,738	9,700

※令和3年度については、釜川南の自動測定器が常設でなくなったことから、10地点の平均とする。

【達成状況】

中心市街地全体の通行量は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少しており、目標値には至っていない。令和3年9月は緊急事態宣言が発出されていたため、休日の通行量が著しく減少している。

ウ 目標3＜賑わい＞

方針：多くの人交流し、恒常的な賑わいを生むまちづくり

【目標指標：歩行者・自転車通行量（常設地点の9月の平均値）】

J R コア・センターコアの3地点が対象

■ J R 宇都宮駅東西自由通路の通行量

	R1 (基準値)	R2	R3 (最新値)	R6 (目標値)
平日	32,295	18,284	17,336※1	37,000
休日	22,641	11,349	10,860※1	28,600

■ 二荒山神社前の通行量

	R1 (基準値)	R2	R3 (最新値)	R6 (目標値)
平日	8,393	6,029	5,730	9,000
休日	5,858	3,906	3,452※2	6,600

■ オリオンスクエア前の通行量

	R1 (基準値)	R2	R3 (最新値)	R6 (目標値)
平日	11,585	11,114	9,922	12,400
休日	13,395	14,112	9,607※2	15,100

※1 J R 宇都宮駅東西自由通路については、コロナ渦における在宅勤務の定着などによる、駅利用者の減少などが想定される。

※2 令和3年9月は緊急事態宣言が発出されていたため、特に休日の通行量が著しく減少している。

【達成状況】

中心市街地全体の通行量は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少しており、目標値には至っていない。

エ 目標4＜居住＞

方針：多世代が住み続けられる安心・快適なまちづくり

【目標指標：居住人口】

区域	R1 (基準値)	R2	R3 (最新値)	R6 (目標値)
173ha	8,703	8,556	8,399	8,940

【達成状況】

中心市街地の居住人口は市街地再開発事業による住宅供給などを受けて、一時増加したが、令和3年度は令和2年度に引き続き減少しており、目標値には至っていない。

オ 目標5＜仕組み＞

方針：活性化のための様々な取組を促進する仕組みづくり

【目標指標：タウンマネジメントによるコーディネートを行った事業件数】

R1 (基準値)	R2	R3 (最新値)	R6 (目標値)
0	—	—	12

【達成状況】

商店街などにタウンマネージャー（まちづくり有識者など）を派遣し、関係団体間の相互連携や組織強化等を目的とした「街なか全体のマネジメント促進に向けた体制強化」がコロナ渦において実施困難となったことから、コロナ渦における新たな賑わいの創出を目的とし、公共空間活用に軸足を置いた「プレイスメイキング」を推進することとした。目標指標による評価は実施せず。

（４）中心市街地の活性化戦略について

【活性化戦略１】

LRT開業と宇都宮駅東口地区のまちびらきによる集客効果を波及させる戦略プロジェクト

⇒ 地域資源の磨き上げによる街なかを訪れたくなるようなコンテンツの充実や、そうしたコンテンツを連携させることによる回遊の促進など、更なる取組の充実が必要。

【活性化戦略２】

LRTの駅西側への導入を見据えたまちづくりプロジェクト

⇒ ビジョンの具現化を図るため、地元商店街や沿線地権者、まちづくり団体等において、ビジョンを共有し、まちづくりの機運を高めながら民間開発事業や公共空間の活用など、魅力的な都市空間の創出に向けた取組が必要。



今後の中心市街地活性化に向けた取組の方向性

J R宇都宮駅西側において、L R Tをはじめとした公共交通と一体となったまちづくりを進めるとともに、地域の特色に応じた土地利用や歩いて楽しい中心市街地の形成に向けた公共空間活用、宇都宮独自の地域資源の更なる磨き上げなど、これまで以上に魅力ある拠点づくりに取り組む。

6 歩きたくなる街とプレイスメイキングについて

日本大学理工学部 建築学科 助教 泉山 壘威 氏の講話要旨

(令和3(2021)年12月20日 当商工会議所2階大会議室に於いて)

(1) 泉山先生の講話要旨

近年日本では、街なかのパブリックスペースの質を向上することでまちをより豊かにし、人々の居心地の良い暮らしを実現する「プレイスメイキング」の取組が盛んになっており、次の3つのキーワードが重要である。

ア ウォーカブルの優先順位

優先順位	内 容
1	楽しさ
2	快適性
3	利益性
4	安全性
5	アクセス性
6	通行可能性



イ Power of 10+

- ・10以上の目的地と10以上のプレイスを作る。
- ・パブリックライフ（滞留空間＋滞在時間）をもっと街なかに持つべきである。

ウ プレイスメイキングを行う上での5つのステップ

- ・コミュニティに出会い、ステークホルダーを特定する。
- ・場所を評価し、問題を明らかにする。
- ・ビジョンとマネジメント戦略を図る。
- ・短期的な実験（検証）を行う。
- ・継続的な再評価と長期的な改善を行う。

〔参考〕「プレイスメイキングうつのみや」の推進について

令和4年度宇都宮中心市街地活性化協議会総会 使用資料一部抜粋

(令和4(2022)年7月21日 宇都宮商工会議所大会議室に於いて)
(宇都宮市中心市街地活性化協議会)

目的地となる可能性がある候補地

1	栃木会館跡地芝生広場	9	中央児童公園
2	総合文化センター広場	10	中央1丁目ポケットパーク
3	バンバ広場	11	市役所正面玄関
4	東武馬車道通り	12	緑の小径
5	オリオン通り	13	城址公園
6	オリオンスクエア	14	大通り5丁目ポケットパーク
7	釜川ふれあい広場	15	田川河川敷
8	まちかど広場	16	ペDESTリアンデッキ

7 都心部まちづくりビジョン～LRTを基軸とした公共交通と一体となった都心部の更なる活性化に向けて～

(令和4(2022)年6月7日 宇都宮市都市整備部 NCC推進課 都市拠点グループ)

(1) LRTの西側延伸について

ア 宇都宮市のJR宇都宮駅西側へのLRT導入に向けた取組経緯

(7) 平成24年度

「東西基幹公共交通の実現に向けた基本方針」策定(H25.3)

- ・ LRTについては、移動需要の推移、道路整備や拠点整備の状況などを見極めながら検討
- ・ JR宇都宮駅交差区間 ・ 東西における公共交通ネットワークの結節や中心部との連携強化、利便性向上 による利用促進の観点からの早期整備

(4) 平成25年度～

LRTのJR宇都宮駅横断交差に係る調査・検討

(7) 平成28年度～

JR宇都宮駅西側のLRT計画区間及び延伸区間の調査・検討

(1) 平成29年度

「JR宇都宮駅西側におけるLRT導入後の将来の公共交通ネットワークイメージについて」公表(H29.7)

(7) 平成30年度

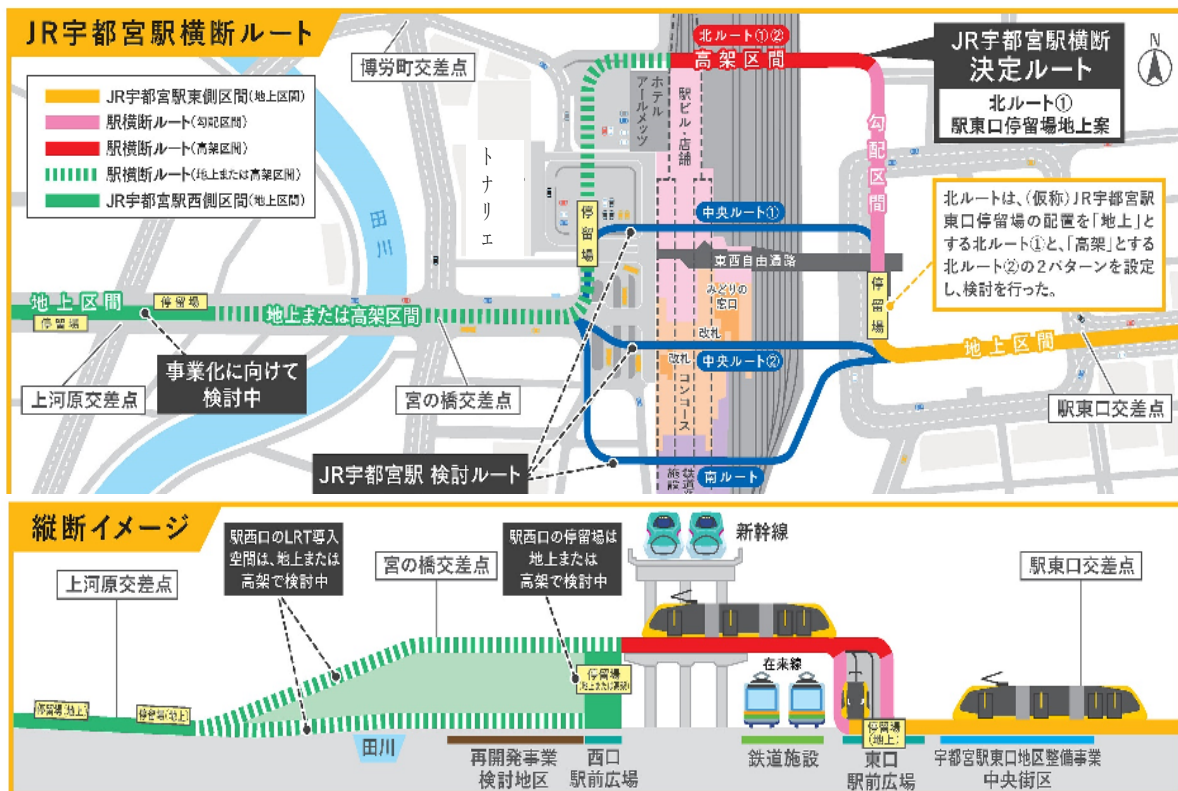
- ・ 「JR宇都宮駅西側LRTの整備概要案」公表(H30.5)

【西側区間】 JR宇都宮駅～桜通り十文字付近

【延伸検討区間】 桜通り十文字付近～大谷観光地付近

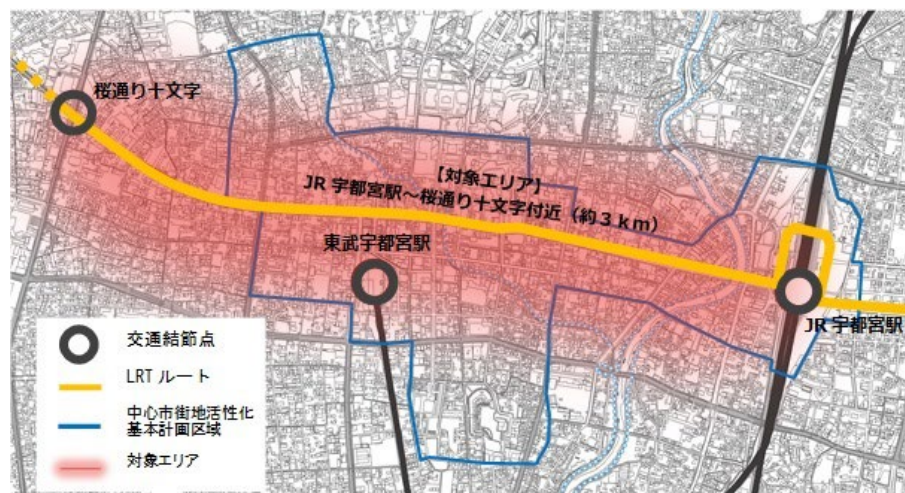


- ・「L R TのJ R宇都宮駅交差区間の駅横断ルート」公表（H30. 10）



(h) 令和元年度～

- ・「L R T整備区間」「大通り道路空間再編」「交通結節点（J R宇都宮駅西口周辺、東武宇都宮駅周辺、桜通り十文字周辺）」などについて関係機関との協議を実施しながら検討中
- ・「J R宇都宮駅西口における最適なL R Tルートの構造」公表（R2. 12）



都心部まちづくりビジョンでは、J R宇都宮駅西側へのL R T導入やバス再編など、公共交通と一体となった魅力ある都心部の目指すまちの姿を描き、市民・事業者・行政等が協働して取り組むべきまちづくりの方針などを取りまとめたもののからの抜粋版である。

(4) 令和4年度

- ・「JR宇都宮駅西側LRTの整備区間」公表（R4.8）
【西側区間】 JR宇都宮駅東口停留場～教育会館付近
【延伸検討区間】 教育会館付近～大谷観光地付近



8 LRTの今後の可能性と中心市街地のあり方について

(まちづくり委員会における意見等)

(1) LRTの運行について

ア LRTの運行については、災害時や停電時による影響も考慮した運行計画が必要である。

イ LRTが整備されると、路面電車に不慣れな市民は、渋滞や事故など様々な交通問題に直面する可能であるため、安全面には十分な配慮が必要である。

ウ 清原のトランジットセンターを活用して欲しい。まちなかの魅力づくりをして勝手に人が集まってこないため、益子、真岡、茂木方面から公共交通のバスで清原のトランジットセンターに行ってもらって、都心部にきてもらうような仕組みを考えていかなければならない。これはLRTを整備する宇都宮市が考えて政府に働き掛ける必要がある。

(2) LRTの西側延伸について

ア LRTの東側整備が遅れるとLRTの西側延伸の整備スケジュールにも支障をきたすため、計画通りにすすめて欲しい。

イ LRTのJR宇都宮駅横断については、西側沿線を歩くと趣きのある街並みが広がっているため、景観にも配慮した整備が必要である。

ウ 宇都宮市民全体を巻き込んだ事業にして欲しい。

エ L R Tの西側延伸の早期着工を期待している。

オ 大谷観光地付近まで通す縦軸はできているので、横軸には環状線にB R Tを整備して総合運動公園、国立医療センター、インターパーク、済生会病院の方まで回るようにした方がよい。

※「BRT」とは、バス・ラピッド・トランジット（Bus Rapid Transit）の略で、連節バス、PTPS（公共車両優先システム）、バス専用道、バスレーン等を組み合わせることで、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステムのこと。

（３）まちづくりについて

ア 宇都宮には歴史や偉人も多いが、今のまちづくりにはそのような痕跡がみられないため、もっと宇都宮らしさ（オンリーワンシティ）を訴えたまちづくりを進めて欲しい。

イ 宇都宮市が「自転車の街」であるならば、街中で自転車が気軽に乗り降りできるようなまちづくりを進めて欲しい。

ウ 中心市街地に人が集まる仕掛けは当然必要であるが、宇都宮市に從來からある財産の掘り起こしと誘導が必要である。

エ 人が集まり賑わいができる場所ならば安心安全の観点から、例えば災害が発生した場合には一時避難場所にもなりうる視点についても検討が必要である。

オ 現在では様々なショッピングセンターや施設などがあり、いかに目的地、魅力づくりを創出していくのが重要である。

カ 「健康寿命」という言葉が注目され、「歩く習慣」をつくるチャンスではないかと思う。宇都宮市には、オリオン通り沿いや釜川沿い、宇都宮二荒山神社周辺などに地域資源がたくさんあり、点となっている地域資源を線で結べば、拠点となりうるのではないかと思う。

キ バンバ通りや東武百貨店エリアがさらに活性化すれば、夢のある街になるのではないか。

ク 宇都宮市でもD X（デジタルトランスフォーメーション）を活用したまちづくりを推進して欲しい。

ケ まちづくりビジョンについて市民に浸透させるため、周知方法を検討して欲しい。

コ 大通り沿いの景観形成重点地区の再開発では、道路側に看板等の創作物を出してはいけない規制がある。L R Tが西側を延伸しても今の規制のままでは、来訪者にお店をアピールできず商業者が減ってしまうため、緩和策等を検討して欲しい。

サ まちなかにコンパクトシティを作り、中心部に魅力ある文化・芸能・娯楽等の施設が欲しい。

シ 歴史を生かした地域に根差したまちづくりを考えて欲しい。

ス L R Tを最大限活用し、まちなかの公共空間の魅力づくり、魅力あるまちをつかって欲しい。

セ 一条中の跡地についても中心市街地に隣接する貴重な公有地であるため、将来的には宇都宮市としてまちづくりに活かして欲しい。

ソ 田川を新たな拠点として、「歩いて楽しい街」にできる方策はいくらでもある。宇都宮共和大の学生も一生懸命ごみの片づけをしているイベントもあるため、ひとつの拠点となり得る。

(4) プレイスメイキングについて

ア 東武馬車道通りの道路空間を活用した社会実験については、前から中心部には休める場所がなく、人が流れるだけであったため、滞在できる場所は素晴らしい。

イ 宇都宮城でお茶飲むところや休憩するところがない。門を作るとか、昔の城の再現をすべきである。

ウ 二荒山神社やオリオンスクエアから田川、宇都宮城、J R宇都宮駅と東武宇都宮駅とまちなかで滞留できるようにする必要がある。

エ J R宇都宮駅西口から桜通り十文字付近までのスペースをどのように区切り、「10以上の目的」と「10以上のプレイス」を創るのかを検討する必要がある。

(5) J R宇都宮駅西側再開発について

ア J R宇都宮駅西口の再開発と西側の延伸を連動させないとハード的な空間構成のことあるため、西口の再開発と西側の延伸を連動させる計画をしていただきたい。

イ 中心市街地の賑わいづくりには、文化や歴史を感じられるような施設を整備し、多くの人に歩いていただきたい。

ウ 中心市街地へ来る目的地づくりとして、例えば、文化の面では演劇や寄席などが発表できる場、食の面では二毛作の飲食店（時間帯ごとに区切りいくつかの飲食店が入居）、エンターテインメントの面ではeスポーツ、ビジネス面ではシェアオフィスやビジネススクールなどの店舗を誘致してはどうかと考えている。